

平成 20 年度 第 2 回図書館協議会 会議録

- 1 開催日時 平 20 年 11 月 26 日（水）午前 10 時～午前 11 時 31 分
- 2 開催場所 宇都宮市立図書館 集会室
- 3 出席委員 8 名
佐々木委員，設楽委員，田村委員，平野委員，小川範子委員，麦倉委員，
山田委員，小川久美子委員
- 4 会議の公開・非公開の別 公開
- 5 傍聴者 なし
- 6 議事
 - (1) 協議事項
第 2 次宇都宮市子ども読書活動推進計画（素案）について
 - (2) 委員提案事項
 - (3) その他
- 7 閉会
- 8 発言の要旨

佐々木会長 皆様には，大変お忙しい中，ご出席をいただきましてありがとうございます。前回の図書館協議会におきましては，「図書館の運営目標及び事業計画（案）」について貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。本日は，協議事項として「第 2 次宇都宮市子ども読書活動推進計画（素案）について」を予定しております。

それでは，議事に入ります。協議を円滑に進めるため，「計画策定の目的など」と「これまでの取組と課題」，次に「計画の基本考え方」と「子どもの読書活動推進のための具体的方策」に分けてご協議いただくことにします。

事務局 第 2 次宇都宮市子ども読書活動推進計画（素案）の「計画策定の目的など」と「これまでの取組と課題」を説明。

麦倉委員 素案の 5 ページの子どもの 1 か月の読書量の統計について，小学生の読書量には絵本の読書数が入っているという説明だが，読書量が増加した原因はどのようなことか。また全小・中学校の全校一斉読書は毎日実施しているのか。

事務局 小学生の数値に絵本の読書数も入っています。朝の読書は，学校教育課の所管になりますが，「全校一斉読書」として朝とは限らずに週 1 回以上を目標に実施しています。

設楽委員 小学生の 1 か月の読書量が増加したことは，調べ学習での読書増などが原因であると考えられます。

小川(範)委員 平成 18 年度から学校図書館に専任司書が配置されたことも大きな要因で

す。全国的にも学校図書館に司書が配置される傾向にあります。この事業は宇都宮市の英断です。

平野委員 専任司書の配置は、子どもの読書に影響があります。また食育に関しては栄養士が配置されました。読書を通じて人間力や学力が向上し予算を投入する成果があります。宮っ子ふれあいブックは、成長過程で読書へのきっかけ作りに大きく影響しています。

佐々木会長 次に、第2章「基本的な考え方」と第3章「子ども読書活動推進のための具体的方策」について、事務局から説明願います。

事務局 第2章「基本的な考え方」と第3章「子ども読書活動推進のための具体的方策」についてを説明。

小川(範)委員 33 ページ施策番号 25 について、栃木子どもの本サマースクールは、今後県の補助金の削減が予想され、平成 22 年度頃からは現在の形での開催は未定です。できるだけ現在の運営形態を、残したい意向です。こちらの記載の変更が必要と思われます。

推進体制の整備の(3)の行政における推進体制の整備は、これまで具体的に連携・協力体制が整理されていなかったため、今回は画期的ですばらしい案です。

基本目標にある「子ども読書のまち宇都宮」は、どのような方法で推進するのか説明願います。

事務局 栃木子どもの本サマースクールについてですが、読書活動の推進のためには、読書に関わるボランティアや民間団体などに、事業実施に連携と協力していただく考え方から、表現は変更せずにこのままといたします。

次に、「子ども読書のまち宇都宮」の推進事業についてですが、重点テーマ4の地域ぐるみの子どもの読書活動の推進事業として、(仮称)子ども読書のまち宇都宮ネットワークを立上げ、その活動の支援をします。

読書に関わるボランティアや団体等のネットワーク形成への支援や、市図書館と学校図書館のネットワークの充実を図ります。子どもの読書活動推進の動きを地域社会全体で進めていくためには、子どもの読書推進に関わるあらゆる業界の人や団体が、意見を出し合い、役割に応じた活動を通して、「子ども読書のまち宇都宮」を盛り上げていく必要があります。

また、(仮称)子ども読書のまち宇都宮・市民フェアを第3図書館の開館に併せて実施するなど、子どもの読書活動の普及啓発の推進を図ります。

11 ページの計画目標では市民へのアピール度を高めるために基本目標を定めるのが、宇都宮市の特徴です。基本目標の下段の「読書を通じたコミュニケーションの増進により子ども同士や家庭、地域の絆が育まれる」ことをイメージし、将来様々な施策と予算を投入し、子どもの読書活動が盛んなまち

づくりを目指すものです。

山田委員 小中学生の読書量が増加したことは理解できたが、高校生についても読書量の目標冊数を達成できるような具体的事業を考えるべきではないか。高校生には、どのようにアプローチしていくのか。

事務局 学校段階が上がるにつれ、読書量が少なくなるのは全国的な傾向です。今年度市内の高校生を対象にアンケートを初めて実施しました。アンケート調査結果の14ページでは、高校生は時間がないこと、また読みたいと思わなかった理由の中で「普段いつも読まない」という回答が50%以上あり、読書習慣ができていないことが判ります。

今年度高校生はどのような読書をしているのか、読書に関する意見交換会を実施しました。「どうして本を読むのか」については、親が読んでいたからや小さい頃から読書の習慣があるなどの状況が判りました。高校生は部活や受験勉強などで時間がないのが現状です。

このようなことから、1つ目の支援事業としまして、小さい頃からの読書習慣が重要であり、高校生になっても読書習慣を継続できるよう支援します。2つ目の支援事業は、素案の21ページの施策番号6として「高校生等の読書フレンズの育成」事業により直接的支援を実施します。

高校生がより身近に市図書館を利用できるようにするための事業として、32ページ施策番号23の市図書館と近隣高等学校との連携・協力を図ります。

山田委員 高校生の読書量増加に向けた取組みを始めていることは、理解できた。高校との図書等物流体制は、どのようにするのか。

事務局 現在市内公立小中学校への図書等を集配していますが、高校は県立と私立の学校があり、物流に関してのアプローチは難しいので、高校生への支援事業を実施いたします。

平野委員 県立高校に勤務した経験から、小中学生の時期に本に親しむ基礎ができていると、高校生で本を読まなくても、大学生や社会人になってから再び本を読みます。

田村委員 素案37ページの事業一覧に関連して、小さい頃から読み聞かせなど読書に親しむ機会が多いほうが、高校生になってからの読書量に影響すると思います。就学前の読書環境が大切なので、保護者の意識改革が必要です。小学5・6年生までには本好きの子どもを育てて、子どもの読書の質を高める必要があります。

事務局 素案37ページの事業一覧についてですが、宮っ子ふれあいブック事業は、今後も継続して実施しますので、家庭での読書活動のきっかけを提供します。また親学情報誌は食育や父親の子育て、読書に関するものをテーマに作成し、幼稚園保育園などで配布しています。

子育てサロンは、幼稚園・保育園などに出向いて、おはなし会や読み聞かせを行っています。

図書館では、おはなし会を実施するなど、本に親しむ機会を提供しています。

小川(久)委員 高校生が読みたい本は図書館では貸出中である。人気のある新着の本の貸出期間を短くし、本の回転率を上げる方法を検討してほしい。

事務局 新着図書の返却期限を短く変更することは、利用者に認識してもらうこととシステム上に課題があります。新着図書は複本で購入し、また人気があり利用の多いものは館内閲覧用本を用意しています。短期間の貸出については、課題がありますが、今後検討を進めたいと思います。

小川(久)委員 大人の場合は、読みたい本に予約が多数ある時には、貸りられないから購入する。高校生のアンケートでは、読みたいが読めなかった理由に本が高くて買えなかったという回答がある。高校生の読書量アップさせる1つの方法として、3日間の短期間の貸出を検討してほしい。

佐々木会長 委員の皆様のご意見を十分参考にして、第2次子ども読書活動推進計画を策定していただくようお願いします。

続きまして、委員提案事項に入ります。図書館につきまして、ご意見がございましたら伺います。

山田委員 新年度の予算編成については、図書の充実が図れるよう十分配慮してほしい。

事務局 平成21年度の本市財政は非常に厳しい状況が予測されます。新年度予算編成では、図書費を減らさない努力をしていますが、期待に十分応えられない場合もありますので、ご理解をお願いいたします。

小川(範)委員 昇任により司書職員が減っているのです、子ども読書活動推進計画を担えるよう司書職員を増やしてほしい。また、第3図書館の管理運営の方向はどのようになっているのか。

事務局 司書の人員増については、必要な司書を確保できるよう生涯学習課、人事管理部門と協議中です。第3図書館の管理運営については、議論中で結論はでていません。市民サービスの観点からも、図書館は直営が望ましいと考えます。

平野委員 第3図書館の正式名称は、いつ頃決定するのか。

事務局 現在第3図書館の実施設計中で、平成23年4月の開館に向けて準備を進めています。現在市立図書館は「図書館」という名称で市立の図書館は4館あり、判り難いという意見を市民の皆さまからいただいています。第3図書館と市立図書館の名称について議論中で、平成22年には正式名称が決定する見込みです。

佐々木会長　　このようなご意見・要望がありましたので、事務局はこれからの図書館運営に反映させてください。

長時間にわたりまして、熱心なご審議ありがとうございました。以上で、平成20年度第2回図書館協議会を閉会いたします。